

様式4

令和7年度 学校運営協議会評価報告書1

鳥取県立白兔養護学校

学校長 原 康浩

評 価 日	令和7年5月22日（木）	
評 価・提 言		学校の所見・改善策
1 今年度の学校運営等について (1) 学校経営方針について ・時間外勤務を減らすことが、教職員のメンタルヘルスにもつながっていく。いろいろな児童生徒や保護者と向き合っているからメンタルヘルスも大切にしてほしい。 ・校長の思いがすごく感じられる経営方針。令和の時代に適している。 ・特に働く若年層の精神的な部分の問題は市でも企業でも起こっている。普段からどれくらい声かけをするかが大切。 ・教職員集団というのはとても大切。教職員相互間のトラブルは発生する。互いを尊重し合うこと、無視せず話し合って解決することが大事。そういった環境を作っていくことが非常に大切。重点的に取り組んでいただきたい。 ・白兔のご縁、とても期待している。 ・社会や周りに関わる中で自分からできる取り組みがある。ご縁プロジェクト等、地域とつながっていくのはいいこと。 ・白兔地域は白兔の神話があり古事記に載っている。児童生徒にも伝えてほしい。 (2) 学校自己評価について ・小学部は非常に人数が多い。不登校の児童も出てくる。教職員が丁寧に取り組んでおられると感じている。相談機関も活用してもらいたい。協力したい。 ・ICT 活用で、言葉での表出が難しい人が、LINE のスタンプのようなもので伝えるとか、コミュニケーションのツールとして使うこともできる。そのような活用も考えてみてほしい。		⇒メンタルヘルスの相談担当を設定している。 学校経営方針の最後に掲げている部分で、一人で抱えずに相談し合うことを示している。 管理職や学部主事など、相談しやすい雰囲気作りをしようとしている。 また、できることを声に出していこうと言っている。それぞれの学部で、月ごとにテーマを決めて取り組んでいる。その中で同僚性を生もうとしている。 ⇒同僚性を高めていきたい。 ⇒白兔のご縁プロジェクトの中で取り扱っていく。 ⇒さらに関係機関との連携を図っていききたい。 ⇒既に取り組んでいることもあるがさらに検討していきたい。

・地域で暮らす知的障がいの方が困られていることに、余暇時間の課題がある。スマホでトラブルに巻き込まれることもある。自分の時間を楽しむような余暇を学校で学ぶ間に取り組んでみてほしい。子どもと親が別々に楽しめることも見つけてほしい。 ・経営方針に沿った目標・取組ができていると思った。本当にやられたことが分かりやすく表現されている。そこへの適正な評価と、何が足りないのかの課題見つけをしていただけたらいいと思った。 ・自然とのふれあいの中でもたらされる効果がある。芝生の効果（癒やし等）、成長にも寄与すると思うので、ぜひ活用してほしい。 ・いろいろな人と関わる中で子どもたちが変わる。そういう活動をお願いしたい。 ・地域とのつながり。学生、生徒さんに地域の面白いものを知ってもらうことを目的にしたい。 ・定時退勤日が月２回は少ないと感じた。週１回はほしいと感じた。	⇒各学部で取り組んでいるが、余暇がさらに広がるように「白兎のご縁」の中の体験的活動を工夫したい。 ⇒体育や休憩時間、部活動を通して活用を促進したい。 ⇒企画委員会や安全衛生委員会で検討する。
2 地域学校協働活動について ○年間実施計画について 3 白兎のご縁プロジェクトについて <協議の中で出たアイデア> ○スタンプチーム： ・インスタグラムに上げる。 ・リモートでリアルタイムで空気感を味わう。（訪問学級） ・夏はスタンプラリーに適しないので、秋がいい。 ・地域に根ざしたスタンプラリーがいい。 ・ぱっと見て歴史が分かる物があるといい。 ・校内スタンプラリーの景品に、現キャラクターのうさぴょんステッカーを作る。 ○地引き網チーム： ・白兎海岸の散策でタブレットで写真を撮り、魚紹介をする。	⇒青谷高校、湖陵高校との交流が加わっている。併せて、白兎のご縁の活動も行っていくのでご協力いただきたい。

- ・かにつこ館等との連携で、事前に指導する。
- ・博物館や海と大地の自然館と連携する。
- ・中止の場合は、かにつこ館の協力等計画が必要。
- ・地引き網のやり方の注意点を教員が覚える必要がある。夏の夏季研修で学びたい。

○兔チーム：

- ・目的やターゲットを明確にし、販売活動も生徒に何が返せるのか、明確にする。
- ・ポスター等も協力していただいて貼っていただく。

<オブザーバーより>

- ・観光コンベンション協会は、観光という視点と地域作りも目指している。鳥取砂丘に次いで、鳥取城も頑張っているが、2 番目に有名なのが白兔地域。いかにそこを盛り上げていくか。協力していきたい。できれば、地域をたくさん知っていただいて、子どもにも興味を持っていただいて、情報がいっぱい流れるよう、協力していきたい。
- ・一緒に白兔地域について発信していきたい。手続き等でも相談してほしい。

4 その他

- ・令和8年度教科用図書について

⇒様々な意見やアイデアをふまえ、
活動を工夫していく。

⇒選定について説明
提案どおり承認